

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		紬のふるさと体験授業推進事業						予算事業名		紬のふるさと体験授業推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				10	01	03	2401	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分		主要事業						
		3-5つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興（伝統産業）								重点事業						
		①伝統工芸の保存・伝承						担当課係等		学校教育課						
2体験学習の実施						指導課										
事業期間		継続（平成25年度～平成32年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
郷土愛を培い、よりよい結城市を築いていこうとする強い意欲を高める。							結城市の特産品をPRし、郷土愛を高めるために、大変ユニークな取組である。また「結城紬」を中心として、小山市との交流を進めることは、両市の将来にとっても、大変意義のあることである。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
市内と小山市の中学2年生を対象に紬の着付け体験を実施し、交流を図る							結城市内の中学2年生									
							【事業をとりまく環境の変化】									
							ユネスコ無形文化遺産に登録された結城紬をきっかけとする、地場産業の維持・発展に寄与するものとする。									
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】								
市内と小山市の中学2年生を対象に紬の着付け体験を実施し、交流を図る				市内と小山市の中学2年生を対象に紬の着付け体験を実施し、交流を図る				市内と小山市の中学2年生を対象に紬の着付け体験を実施し、交流を図る								
■事業費																
				H29年度		H30年度										
財源内訳	国庫支出金			0		0										
	県支出金			0		0										
	地方債			0		0										
	その他			0		0										
	一般財源			658		578										
歳入計（千円）				658		578										
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）									
	08	報償費			333		176									
	11	需用費			50		50									
	12	役務費			208		267									
	18	備品購入費			67		85									
歳出計（千円）（A）				658		578										
伸び率（％）						-12.15										
備考	総合計画 99ページ 予算書 159ページ															

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	結城着付け体験	回	目標	15.00	15.00	15.00
			実績	11.00	0.00	0.00
	体験ボランティア活動	回	目標	50.00	50.00	50.00
			実績	46.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結城市の将来のためにも必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	行政主導は否めないが学校との連携が必要である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のところ妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	事業の向上のためにはコスト増は必要。
公平性	受益者の偏り	C 偏りがある	中学生に偏る傾向がある。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	郷土愛を高めるには有効である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	諸団体との協力体制が確立されており順調である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
結城市の将来を担う子ども達の郷土愛を培い、よりよい結城市をつくっていかうとする意欲を向上させるためには大変有効であり、この事業を継続できるよう学校と行政が連携していく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
紬の着付け体験は全ての中学2年生を対象として実施し、紬だけではなく多くの郷土産業に注目していきたい。また、小山市との交流を実施したが、改善の余地があると考え。紬を中心とした両市の交流方法をさらに検討する必要がある。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 結城市民としての郷土愛を育てることが目的であることを再認識させたい。また、小山市と連携を密にしながら双方向のある事業にしていきたい。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。